



## 《平成 25 年3月定例議会報告》

3月5日、住ノ江議員が代表質問を、続いて7日に渡辺議員が、翌8日には岡田議員が個人質問を行いました。（主な内容を抜粋して掲載しています）



©NEW KOMEI

### \*平成 25 年度予算編成について・・・



住ノ江雄次議員

住の江雄次議員は、本年2月 20 日に行われた水越市長の施政方針演説の内容から、平成25年度予算編成について、大綱3点

に渡り質問。初めに市民の健康づくりから、歯と口腔の健康づくり推進条例の取り組みと、4種混合ワクチン・成人用肺炎球菌予防接種について確認。また、健康センター「いきいき館」の整備内容について市民の望む施設整備を要請。次に、子育て支援策、老人福祉センター改修事業、生活保護の実態と今後の事業運営について質問。また、産業振興施策について「農業振興総合計画」の背景と経緯・新計画をどのように進めていくのか？施策内容等について更には、「商工業・企業立地振興計画」の内容とスケジュール等に触れ、市の姿勢を確認。最後に教育行政から、(仮称)真舟小学校建設と開校に向けた諸問題・進捗状況を、また学校給食アレルギー対策に関連して、教職員に対するエピペン使用講習や市の対応状況を確認しました。

### \*子ども達を育む環境の整備と充実のために

渡辺厚子議員は、「子ども達を育む環境の整備と充実の

ために」という大綱1点について質問を行いました。まず、公園整備の現状と今後の進展については、H28 年度までに請西・港南台・羽鳥野・金田東地区等の 20 箇所の公園整備が予定されていることや、遊具やフェンス等の老朽化対策は、早急な改修が必要な 40 公園 78 施設を国の補助金を活用して改修することが確認されました。また、子どもの支援のための基金について、本市の独自の入学資金（給付型奨学金）の増額や、交通遺児福祉基金の支給対象を災害遺児や自死遺児等に拡大すべきではないかとの質問では、入学資金の増額は現状では難しいとの回答と、交通遺児福祉基金については、対象拡大のための条例改正に向けて平成 25 年度から具体的な検討を始めるとの答弁を得ました。



渡辺厚子議員

### \*障がい福祉行政について・・・

岡田たかし議員は、8日に「障がい福祉行政について」大綱1点質問をしました。4月から開始された障がい児童育成医療給付



岡田貴志議員

と障がい児通所等支援給付事業について本事業の経緯と本市の利用状況や事業内容について詳細に確認しました。次に障がい者の経済的な自立を支援について働く障がい者の工賃向上に繋がる国・県の取り組みによる「工賃向上計画」に対する市の姿勢を確認したうえで、4月から施行された「障がい者優先調達推進法」をどのように進めていくのか？更には、同じく4月から施行された「小型家電リサイクル法」を踏まえ、福祉部と環境部とのクロスファンクショ、先進地事例「神奈川モデル」を紹介して障がいを抱えながら、懸命に働く障がい者の経済的自立支援のために各部局が互いに協力して、先進事例のような事業に取り組むべきでは？と強く要請しました。

## 「通学路緊急合同総点検」の結果による改善策が実施されました！

子供たちの通学路における事故が多発したことを受け、国より各自治体に対して通学路の総点検を実施するよう通達がありました。本市においては、平成24年の夏、教育委員会・学校・道路管理者・木更津警察が合同で市内18校の小学校区通学路の総点検を行い、77ヶ所の危険箇所があるとの結果が出ていました。会派として、行政に対し早急な対応を要望する中で、平成24年度中にほぼ全ての改善策が講じられ、通学路の安全対策が大きく前進しました。



★波岡小通学路  
中清水公園脇  
ガードパイプ



★富岡小通学路  
下郡橋付近  
「速度落せ」の  
路面表示  
と外側線



★中郷小通学路  
中郷小前  
「横断者注意」の  
路面表示



★第二小通学路  
広域水道企業団脇  
「通学路」の  
路面表示

### “岡田壽彦議員が 関東市議会議長会総会で 地方財政委員会代表報告”

4月25日に甲府市で開催された関東市議会議長会総会において、岡田壽彦木更津市議会議長が、平成24年度地方財政委員会事業報告・平成25年度地方財政計画等について報告を行いました。



## 平成25年度(4月1日)から始めました！

三種（子宮頸がん・小児用肺炎球菌・ヒブ）の予防ワクチン接種が定期接種化されました！

※子宮頸がん予防ワクチンの対象は小学6年生から高校1年生相当に変わりました。（中学1年生には個人通知があります）

高齢者肺炎球菌感染症予防ワクチン接種の一部公費助成が開始されました！

75歳以上や対象となる障害を有する65～74歳の方で5年以内に接種していない人に1回に限り3,000円を市が負担します。

ちば南部地域若者サポートステーションが開設されました！

若者（15～39歳）の就労・自立をサポートする相談窓口が、木更津駅東口たちより館2階に開設されました。